

ドングリネット神戸不定期情報誌

ドングリタイムズ

第24号

特集：芦生の森 探訪記

ドングリネット神戸活動のしくみ／02.3月～9月の活動報告／ドングリな人／小畑が斬る
本の紹介／森遊び・機まきおじさんのお話 その4／こくちばん



ドングリネット神戸活動のしくみ

種や挿し木から苗木
を育てて提供します。



プラントマスター

苗木の提供

預ドングリ

ドングリを集めて
銀行に預けます。
払い戻して苗木を
受け取り、自宅や
学校などに植えます。



よ預ドングリ者

資材などの提供

ドングリ銀行神戸

窓口の開設
通帳の発行
苗木の払い戻し

植樹ピクニックなど
への参加



ドングリからポット苗の育成

道路法面や公園などに
植樹・ドングリ播種

ドングリネット神戸

<緑のリサイクル>



どんぐりおうえんだん
団票応援団

お金や資材で活動を
応援します

植樹ピクニックなどのイベントの企画
ドングリ炭・腐葉土作成・再利用
小学校などに出張授業
ドングリタイムズの発行etc.

新しく入られた方も多いため、ここでドングリネット神戸の活動をあらためてご紹介しておきます。「ドングリ銀行神戸」というのは、ドングリと苗木を交換する活動の名前です。ドングリネット神戸は、それを支える組織です。活動への関わり方は様々です。「見つける・遊ぶ・食べる・育てる・植える」をキーワードに、ドングリを通して緑について知り、みんなで楽しみながら緑を増やしていく活動です。20年、30年後気がつけば街に森ができていたということになっているとうれしいですね。

今年のドングリはおおきいかな?
 窓口でまってるよー

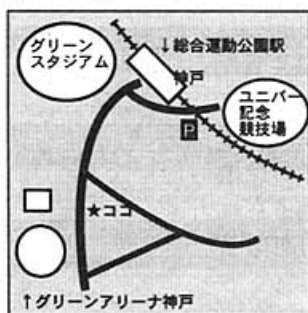
ドングリ てんこんばん

預ドングリのおきて

- その1. 水に沈んだ実のつまったドングリだけにするのじゃ
- その2. ドングリはできるだけ種類ごとにわけておくのじゃ
- その3. 100Dごとにわけて数をかぞえるのじゃ
- その4. 「ドングリしわけカード」をがいてはるのじゃ
- その5. 1回に預ドングリできるのは1~5000Dまでじゃ
- その6. 窓口に来れないものは、事務局まで送るのじゃ
- その7. 通帳も忘れずに



預ドングリ臨時窓口開設のお知らせ



預ドングリ常設窓口開設のお知らせ

■ドングリネット神戸事務局

毎週火曜日（祝日を除く）10:00~12:00
 受付期間中のみ、毎週金曜日15:00~17:00
 も開局します。

郵送される方は、なるべく上記の期日指定でお送り下さい。
 通帳も忘れずポリ袋などに入れて同封して下さい。

■コー・プラン

（茶店きんもくせいの2階です）

神戸市灘区楠丘町2-5-20

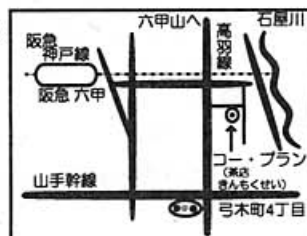
Tel.078-842-2311

祝日以外の毎週月~金曜日

9:30~16:30に持ってきて

下さい

●ここでは郵送の受付はして
 いません



ドングリ受け付け期間

10月5日~12月10日まで

尚、やむを得ず上記以降に預ドングリされる場合は、事前に
 こー報いただければ対応いたします。

■10月12日（土）10:00~16:00

神戸総合運動公園 水上ステージ横
 「グリーンフェスタこうべ'02」

神戸市営地下鉄「総合運動公園駅」下車南側へ徒歩5分
 ▼駐車場あり（有料）当日は混雑が予想されます。

■11月24日（日）10:00~16:00

伊丹昆陽池公園 草生地広場

阪急・JR「伊丹駅」より市営バス
 西野武庫川センター行
 「住友北」または「昆陽池公園前」下車2分
 昆陽の里行 「市役所前」下車5分
 ▼駐車場あり（有料）当日は混雑が予想されます。

ドングリ工作
 やグッズも
 そろってるよ
 きてね



掲載しきれませんでした
 が、秋には他にも植樹や
 イベントへの出展を予定
 しています、詳しく知り
 たい方は、事務局までお
 問い合わせ下さい。

ドングリピクニック

参加者募集

とき：11月3日（日）

ところ：奥須磨公園~おらが山

恒例となつてまいりました秋のピクニックです。
 ドングリを拾って、遊んで、食べて、植えて、工
 作して、秋の1日をドングリ三昧してみませんか？
 お申し込みは、ハガキに住所・氏名・年令・性別
 ・電話番号をお書きの上、10月25日までに、ド
 ングリネット神戸事務局までお送り下さい。集合場
 所など詳細をお送りします。

主催：神戸市森林整備事務所・ドングリネット神戸

団票応援団 どんぐりおうえんだん だより

朝夕の冷たい空気に秋の気配が感じられます。今回はいつもにも増して多くの方からのご送金
 をいただきました。昨年度末にはどうなるかと思っていた財政もこれで何とか持ち直すことが
 できました。ありがとうございます。これからもう一人一人をつなぐ活動を心がけます。

ドングリタイムズ23号発行後、02年9月20日までにご送金いただいた方のお名前は、
 以下の通りです。ありがとうございます。

末長こころ、古川 潤、山ロー史、鳥越和美、椎野久子、梶 光輔・早織、石丸 翼、西本美知子、和田邦孝、細木 博、
 山口正邦、長谷川善一、山崎節子、夫馬聡子、原田久美子、中村涼太・綾沙、竹元忠嗣、白政宏通、浅山三郎、亘 信夫、
 永島和子、亀崎利治、中村昌子、増田恵一、山下里加、清水裕子、北口あづみ、重野 彰、越智久美子、吉田節子、
 橋 悦子、竹田勇太、中村光司、吉田勝宏、石原憲一郎、大林進一、湯浅靖嗣、市村浩一郎、藤井悠太、金城辰夫、
 藤本雅美、豊 哲志、日本災害救援ボランティアネットワーク、永福 栄・智美・彩香・陽香・郁香、松井光利、室賀泰二、
 竹井恵美子、前川 宏、柴 麻希、大滝玲子、日色真帆、足立真央・真臣・真以、平きみえ、大倉由輝子、嶋海邦規、
 澤田俊明、田代俊彦、長尾佳太郎、廣内一政、中西恵美、橋本敬子、松井智恵、花田佳明、森下達子、小泉沙織、
 上月健嗣・康史、榊原美砂子、中西文枝、松下芳樹、小野豊子、小森千枝、西山尚子、中村和正（順不同・敬称略）

●この活動は、ひょうご環境保全創造活動助成からの助成金を受けています。

編集 後記

- ・ああ！ついに10月になってしまつてからの送付となつてしまいました。ごめんなさい。夏に遊び
 すぎたキリギリスの気分です。こりずにおつきあい下さい。お便りも待ってます。（MASU）
- ・「山々が 彩り豊かに 変わりゆく」 実りの秋、ドングリの秋、やってきました。（COBA）

ドングリネット神戸 事務局

〒653-0054 神戸市長田区長楽町2丁目2-15

Tel./Fax. (078)739-2929

E-Mail :massuda@par.odn.ne.jp

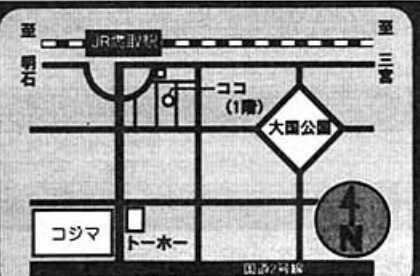
代表 マスタマキコ

Tel. Fax. (078)997-5541

団票応援団は、ドングリネット神戸
 の財政サポーターです。皆さまからの
 応援金を苗木の育成や植樹などの活動
 に役立てさせていただきます。

入会された方には、ドングリタイム
 ズ8回分をお届けします。ご協力いた
 だける方は、所定の用紙にてお振り込み
 下さい。尚、すでに前回ご入金いた
 だきました方は、重複お許し下さい。

年会費（1口）個人2千円 団体1万円



- 事務局は、毎週火曜日の10:00~12:00開局しています。
- 事務局は不在にしていることが多いので、お問い合わせはなるべくFAXまたは郵送にてお願いします。

駅南側ロータリー左手、角にスナック秋桜のある
 路地に入って2階目右へ、赤い螺旋階段と看板が目印



「芦生の森」探訪記

文：マスタマキコ

芦生の森は知る人ぞ知る京都の奥の奥にある原生林です。京都府美山町の滋賀県と福井県との県境にあって、京都大学が大正10年から99年間の契約で演習林として借りているところです。原生林といっても、全く手つかずの森というわけではなく、むしろ人間とともに存在した「原生的な風景が残されている場所」というのがふさわしいそうです。由良川の源流でもあるこの「特別な森」を歩いてみました。



みんなで森に入らせてもらいました

7月8日 朝の雨がうそのような夏空。入道雲も出ている。朝日森林文化協会の島田さんの案内で、滋賀県朽木村からさらに車で約1時間かかってやっと地蔵峠に着いた。そこからは徒歩でゆっくり森に入る。森の中は涼しい風が吹き、足元ではわき出た水が谷の方に向かってチロチロ流れ、やがてブナやミズナラの大木の根元で大きな湿原をつくっている。苔むして枝も大きくねじ曲がったトチの木は樹齢何百年あるのだろうか？ 見上げると木漏れ日がとても気持ちいい。落ち葉と水で柔らかい地面にはあちこちに当たり前の顔をしてアカハライモリが寝そべっている。手を出しても逃げようとしない。ここではすべてゆっくり時間が流れている感じ。「Moss Forest」というだけあって、朽ちた木の上には様々なコケやシダがこんもり生えている。ひとつの木が朽ち、長い時間をかけてふたたび水や土にもどり、さらにまた新しい木につながっていくのを肌で感じるができる。



スギの原生林が見えます

30分ほど下ると少し開けたところに出て、杉の原生林を見ることができた。見慣れた植林したスギ林と比べるとずいぶんランダムな感じだ。しかしこれが本来の森というものなのだ。ここには小さな山小屋もあるが、奥にあったもう一つの小屋は今年の雪でつぶれてしまったとのこと、冬の厳しさが想像される。半日の短い滞在だったが、夢のような森の空気にすっかり魅了されてしまった。機会があれば再びもっともっと長くいたいと思わせる力があつたが、この自然を守るには人間はなるべく入り込まないでそっとしておく方がいいに違いない。

「芦生の森」は京都大学が教育と研究のために地元から借りられている場所ですので、一般の利用には制限があります。入林の際には入林届けが必要です。詳しくは、京都大学付属演習林のホームページ <http://plunris.kais.kyoto-u.ac.jp/> をご覧ください。



本の紹介

「雑木林に 出かけよう」



八田洋章 著
朝日新聞社 刊

クヌギ、ミズナラ、コナラ…ドングリのなる木など
雑木林の主役・ブナ科の樹木を日を追って観察した
記録。図版が多くて見やすいです。



「ぞだててあそぼう」

園芸絵本シリーズ 全9巻 全45巻
農文教 刊

トマトやナスなどポピュラーなものから
ソバやラッカセイ、ミツバチやカイコま
で、実際に育ててどう使うかも楽しく知
ることができます。ワタがおすすめてです。

森遊び 種まきおじさんのお話



その4

「ドングリ銀行 ミニ臨時窓口を開く？」

文：和田邦孝さん

秋、山にハイキングに行ったり、公園で遊んでるときに、ドングリが落ちてたら、拾って「ドングリ銀行が開いてるときに持って行こう。」って思うでしょ。私も、神戸地域の里山活動やプレーパークに遊びに行くところは、ドングリ林が多いので、秋はドングリを拾います。そんなとき、「ここにドングリ銀行があれば、一緒にいるみんなも預けられるのにな。」って思いました。

そこで、事務局に相談して、ミニ臨時窓口銀行セットを作ってもらいました。それから、セットを借りては里山活動に持っていき、ドングリ銀行のことを知らない人にも説明して仲間を増やし、たくさんドングリを送れるようになりました。手間は増えましたが、臨時銀行員も面白いものです。家では、「おやじのままごとセット」と呼ばれています。

このミニ銀行セットを持つと、あら不思議、あそこの森の手入れで窓口を開こう、ここのプレーパークで窓口開こう、はては、あそこのハイキングにもぐりこんで窓口を開かせてもらおうとか、夢がひろがります。あちこちの里山活動をドングリがつなぎ役となり、活動が活発になれば嬉しい限りです。

例えば、武蔵谷プレーパークでは、子ども達が遊びながら公園のドングリを拾い、30人も通帳を作ってくれました。ひよどり山の学校や両畑公園管理会は、中学生のトライやるウィークのときドングリを拾い、団体名で通帳をつくって預け、春には苗木を払い戻して公園に植林しました。

皆様のところではいかがですか？



ドングリ銀行の
ハンコと通帳と
用紙。これさえ
あればどこで
も小さなドング
リ銀行が開ける。

かぞえばし

筆者紹介：和田邦孝（くにたか）さん：神戸市森林整備事務所勤務の際「こうべ森の小学校」を立ちあげた一人。森林インストラクターでもあり森林の生態に造詣が深いだけでなく、里山の手入れや森遊びグループの応援団的存在で、実際に外出して一緒に汗を流す手間を惜しみません。現在は、神戸市北建設事務所公園緑地係勤務。和田さんの播いた里山活動の種があちこちで花を咲かせています。

ドングリネット神戸
02年3月～9月の
活動報告

植樹・下草刈りピクニック
おらが山

2002年3月24日植樹 6月30日下草刈り

●ドングリ林の伐採
とリサイクル利用

前号でもお知らせしましたように神戸市西区神出町に借りていたドングリの苗畑がすっかりドングリ林になり、土地返還のため3月21日伐採作業を行いました。あいにくの小雨と強風にもかかわらず、助っ人として参加してくれた上月さん、永福さん両親子と、スタッフとの総勢21名で、めちゃくちゃに茂っていた林をまたたく間に(1時間くらい)きれいさっぱりと刈ってしまいました。さらに強力な助っ人として山羽造園さんの協力で「タウンピーパー」というチップ車も登場して、刈った木や枝を、その場でどんどん細かいチップにしていきました。みんな植える作業より刈る作業の方がとにかくうれしそうにやっていたのが印象的でした。



少し太い枝もタウンピーパーにかかればあっという間にチップに



きった木の枝を
全部つかったよ!

このコーナーは、毎回ドングリのえらい人を紹介しています。

●ドングリ名人



僕たちのどんぐりを植える活動は今から約2年前まだ美賀多台小学校の5年生だった2000年9月に始まりました。この2年間に植えたどんぐりの数は何百個もあり、そのうち発芽したものがほとんどでした。そこでその苗を山に植えるということになり、今年の3月から植樹ピクニックに参加するようになりました。2回目に参加した下草刈りピクニックの6月では、途中で大雨に降られて大変な作業となりました。これからこの活動を続けていくつもりですので、どうぞよろしく願っています。

この文は、出村くん・朝倉くん・梅谷くんの3人が送ってくれました。

植樹ピクニックに育てた苗木を持って参加してくれた出村君たち美賀多台小学校の卒業生の皆さんと先生。ドングリ育てるのも、ピクニックへの参加も生徒からの発案だったそうです。こんな参加者が増えてくれるとうれしいです。



▲6月30日。あいにくの天気でしたが、植樹にも来てくれた美賀多台小学校の卒業生の出村君と朝倉君と母さんたちが参加してくれて、地元の方々とスタッフで雨の中カッパを着て作業しました。思ったほど下草は伸びていませんでしたが、すべる急斜面での作業でへとへとでした。ただ作業後高倉台の婦人会の方が用意してくださった焼きそばが暖かくおいしく、みんな急に元気を取り戻しました。

小畑が新る!!

14

こばたがきる

こばた 小畑 俊也

エネルギーは
どうなるの?



人間が生活するために必要なエネルギーにはどんなものがあるかわかるかな? 昔は料理の炊炊きや暖房に薪や炭が使われ、また水の力や風の力を利用して、粉をひいたりしていたんだ。時代が進むにつれて、エネルギー資源は石炭・石油・天然ガスなどの化石燃料に代わり、さらに水力発電・火力発電(原料は石炭・石油)による電気エネルギーの利用は、これまでの生活や産業を大きく変えることに…。60年代に入って日本のあちこちにダムが造られ、港に近い海岸には大きな火力発電所が建ち、大量の電気を作るようになりました。ダムによる水力発電は、広い範囲で自然を破壊し、火力発電は二酸化炭素を多く出し、どちらもよりよい方法だと思わないよね。

現在では、少ない資源でたくさんの発電ができるウラン資源を使った原子力発電が、世界の発電量の30%以上を発電しています。石炭や石油を燃料とした発電より二酸化炭素を出す量が少ないので、温暖化対策として有効だという人もいるそうですが、チェルノブイリの重大事故をはじめ、日本でも、放射能がもれる事故なども起きて、安全とは言い切れない面もあるんだ。また、放射能をふくんだ廃棄物の処理の方法は、今のところわからないんだ。安全に処理できる方法が見つかるまでは、コンクリートで囲い埋めるだけ。そのため、新しい発電所をなかなか建設することができないんだ。

●このコーナーは大人が子どもと一緒に読んで一緒に考えて下さい

こんな危険な発電には頼らない!と、ドイツでは将来的に原子力発電の廃止が決まっているくらいなんだ。

今の生活に必要な電気。でも、安全でないといやですね。安全な発電を期待されている『太陽光発電・風力発電・波力発電』というのがあるんだ。太陽光発電は太陽の光エネルギーを電気に。風力発電は風をエネルギーとして、大きなプロペラを回し電気に。波力発電は、海の波をエネルギーとして電気をつくり出します。どれも安全ですが、風力発電と波力発電はどちらも風が必要で、風や波がある所じゃないと発電できず場所が決まられてしまいます。そんな中、自然環境を壊さず、放射能の心配しないですむ、しかも太陽がある限りいつまでも発電できる太陽光発電が期待されています。

太陽光発電はよいことづくめのように思えますが実は、問題もあるんです。太陽が地球に届けてくれているエネルギーの量は世界中で使っているエネルギーの約3000倍もあるんですが、バラバラに届くために、集めるのがたいへんな仕事らしく、今、世界各国で研究中だそうです。早くもっとみんなが使えるようになれば、今テレビの commercials で見るように、自分の家で発電ができ、安全で電気の無駄使いも無くなるかも。

